

令和3年2月19日

厚生労働大臣

田村 憲久 殿

東京都知事

小池 百合子

新型コロナウイルス感染症及び変異株による 感染拡大に関する緊急要望

年末以降の新型コロナウイルス感染者数の急増に伴い、保健所業務の増大や宿泊療養施設の一時的なひっ迫により、自宅療養者の数は急激に増加しました。緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にありますが、自宅療養者数は今なお高い状態が続いています。

現在、宿泊療養施設への入所が比較的容易になったにもかかわらず、宿泊療養よりも自宅療養を希望する方が多いため、保健所は、自宅療養として調整せざるを得ない状況となっています。

今後の感染拡大を抑制し、リバウンドを避けるためには、新規感染者数を更に減少させていく必要があります。現在、感染経路が明らかな人の5割弱は同居人からの感染であり、家庭内感染を防ぐためにも宿泊療養の活用が不可欠です。

また、より感染力の高い新型コロナウイルス変異株による感染拡大が懸念される中、家庭内感染の機会を最大限抑止することが重要です。

新型コロナウイルス感染者数を更に減少させ、今後の感染拡大を抑制するため、入院対象者以外の感染者は自宅療養ではなく原則宿泊療養とするよう、厚生労働省から通知を発出することを要望いたします。